## 温室効果ガス排出削減計画

氏(法人	(法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)									在地)							
							<b>〒</b> 712−8074										
本票作成 部署名:製造部																	
主たる業	-1=- /	分類	0.1		<b>年夕</b> .	<b>宏光</b>	<u>ー</u>	- 告月日	製造業								
土たる未	* <sup>作性</sup>  コ	ード	21	未1	<b>埋</b> 行;	羔耒	· 1.41	1 表 加	<b>没</b> 但未								
事業の 概 要	高炉	セメ	ント	B種及	なびスラ	ラグ微	:粉末の	の製造	土								
県内の 主 な 工場等	番号	-	工場等の名称								所 在 地						
	1	水	水島リバーメント株式会社							岡山県倉敷市水島川崎通1丁目							
								7 0	· · · · ·								
特定事業 の該当要	- 1.1					500klL									_	CO <sub>2</sub> 換算	3,000t以上
り 談 目 安	<del>(111</del>	(	上場∜	等の数	<u> </u>		1	所	(	Ŀ	<b>車</b> 両台	致 ((	②該当	の場	台)		台)
計画期間	間		平月	戓	28	年度			$\sim$		平成	32	2 年	连度		( 5	箇年度)
削減目		ずわ		総担	非出量	基準			目標削	減	率	目標	20%以上	E 20∼	15% 15	~10% 10	~5% 5%未満
月170以 日 1	テーを	を選択 ② 原単位基準 5.0							% 区分 〇								
温室効果な	jス		基準	年度	(平成	27	年度	)				目標年	E度( <u>5</u>	平成	32	年度)	
排出量						]	15, 708	8 t C	$O_2$							14, 923	t CO <sub>2</sub>
	_	番号	工場等の名称						基準年度(平成 27 年度)の排出量								
		1	水島	リバ	ーメン	式会社	会社			15, 708 t CO <sub>2</sub>							
基準年度																	t CO <sub>2</sub>
主な工場 の排出量																	t CO <sub>2</sub>
ツが山里	`																t CO <sub>2</sub>
																	t CO <sub>2</sub>
																	t CO <sub>2</sub>
※   計	, ,	• •							業者が	定	める期	間を		- 0	اللا ور		
(原単位基	:準	フラガ郷松士の仕产具								ŀ		基準學	<u>原単位</u> 手度	<u>仏当だ</u>	- り那	<u>出重</u> 目標 <sup>g</sup>	 F度
の削減目標 選択した場	<sup>長を</sup>   フ										66. 31 62. 99						
に記入)											t CO <sub>2</sub> / ( 千t ) t CO <sub>2</sub> / ( 千t )						
(該当事業	書のみ	シ記入	()														
ベンチマー	ーク	対象事業の名称 ベンチマーク指				ーク指	標		関連	数値(	平成	27	年度)	達成率(%)			
指標の状	:況																
【目標削減率設定の基本的な考え方】 粉砕に必要な水分を減少させて燃料原単位を改善するとともに、																	
粉砕に必	要な	水分	を減しまる	少さす	せて燃	料原単	位を	改善	すると なみぎ	と <sup>-</sup>	もに、	マが	田 ボっ	#IF LL	尼忠	<del>/</del>	はよって
能力(時間当りの生産量)を向上させて電力原単位を改善して、温室効果ガス排出原単位を削減する。 この達成のために、スラグ粉砕機の操業条件の改善を継続し、設備改善も検討する。																	

【目標削減率達成のための推進体制】							
○省エネ法にもとづく管理体制 ○毎週の生産ミーティングでエネルギー原単位の現状把握と操業条件を設定							
			- 一が中国の分別に位置に採水水川と飲ん				
		)ためのこれま (のなな					
		の名称 /ト株式会社	取組内容 ○照明装置など更新時における省エネ機器の採用を推進				
小局リハ	ーメン	/ 下休式云红	○無明装直など更新時における有工不機器の採用を推進 ○操業条件改善による電力および燃料の削減				
<b>7</b> = 1 == 250	I H H , L ,		**************************************				
【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】 工場等の名称 #置内容							
	.,. ,	:00名 M / ト株式会社	日直内谷 ○操業条件改善による電力および燃料の削減(継続)				
小局リハ	· - / /	个体以云红	毎週の生産ミーティングでエネルギー原単位の現状把握と操業条件 「毎週の生産による電力ねより燃料の削減(極続)				
			を設定				
			○粉砕性を改善し、電力・燃料を削減するための手法を検討中 ○照明装置など更新時における省エネ機器の採用を推進(継続)				
【森林保	全等项	 み収源対策への	取組計画】				
県内で		CANIMAT A V					
の取組	無						
その他	無						
	2111						
	能エネ	ベルギーの導入 I	計画】				
県内で の取組	無						
V ) 4/1/101							
その他	無						
【その他	特記事	項】					
本計画書変更の理由							
  別紙「温室効果ガス排出削減対策実施状況等報告書」の【削減状況の自己評価】のとおり							
製造プロセスおよび製造条件が大幅に変更されたので、温室効果ガス排出削減計画を見直す。							